公益財団法人とちぎ未来づくり財団

令和5(2023)年度事業報告 参考資料

1	青少年健全育成事業 (栃木県青少年育成県民会議事業)	 1
2	子ども総合科学館事業	 4
3	とちぎ海浜自然の家事業	 9
4	なす高原自然の家事業	 12
5	文化振興関係事業	 15
6	埋蔵文化財センター事業	 23
7	栃木県総合文化センター事業	 30

A. 次代を担う子ども及び青少年の健全育成及び福祉の増進に資する事業

するための県民運動を一般県民に周知す

1 青少年健全育成事業[栃木県青少年育成県民会議事業]

1 啓発資料等の作成・配布

目的 活用方法等 備考 種別 作成部数等 配布先 青少年の健全育成に役立ち、県内各地で活 各市町、関係機 6,000部 |関、財団 (青少年||賛助会員には直接郵送するとともに、各市町や関係機関を通じて一 躍されている指導者各位を結ぶ架け橋の役 機関誌 (3,000部×2回) 目を果たすとともに、一般県民に青少年健 育成県民会議) 賛 般県民に配布した。 「青少年とちぎ」 12月、3月配布 全育成活動を紹介する。 助会員ほか 心豊かでたくましいとちぎの青少年を育成 各市町村民会議を通じて、総会や研修会の折に、一般県民にホッカ

全市町村民会議

ホッカイロ 2,500個

カレンダー 3,400部

〇印はとちぎ県民カレッジ登録事業

イロを配布した。また、絵日記コンテストの入賞作品を利用した啓

発カレンダーを作成し、関係団体や賛助会員に配布した。

2 県民大会等の開催

「県民運動」

啓発物品

	No.	名称	目的	内容	対象・参加者数	実施日·回数	周知方法	備考
0	1	少年の土張発表県大	県内の中学生の若者としての誇りと自主性 を育てるとともに、健全育成に対する大人 の理解と関心を深める。	実施した。 最優秀賞を受賞した星野みおり さん 『女性が毎日笑顔でいられるように』は 第45回少年の主張全国大会において努力 賞を受賞した。	聴衆168名 ※新型コロナウイルス感	9/16(工)	県内全中学校、青少年育成関 係団体にポスターを配布、当 財団及び県ホームページ等	

3 研修会、講習会等の開催

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	実施日等	参加者数	選定方法	周知方法	備考
	会議等全体連携会議	青少年育成運動の円滑かつ効果的な推進を図り、各青少年育成関係団体のより広い連携の在り方を考える。	栃木県総合文	の中間伯勢可画の周	成指導員、青少年	6/6 (火)	86名	希望者全て	各市町村民会議や育成指導 員、各青少年育成関係団体に 直接通知	
2	親子学び合い事業 フォローアップ研修	親子学び合い事業講師のスキルアップを目指し、講座内容の定着や資質の向上のための研修を実施する。	とちぎ青少年	合同会社ロジカルキット下田太一氏を講師に、講座に使用する資料の確認や、講師としての知識の底上げに資する資料提供等を行った。	とちぎネット利用 アドバイザーとし て認定された講師	28/20	①14名 ②12名 ③14名	とちぎネッ ト利用アド バイザー	本人に直接通知	

l	0. 名称	目的	実施場所	内容	対象・参加者数	実施日·回数	周知方法	備考	
) 	(青小年の軽調期に	る機会とする。	とちぎ青少年 センター及び オンライン 栃木県総合 化センター	第2回はNPO法人「だ」成指導員、青少年	①11/30 ②1/30 ②74名	柔切耂 今 ア	各市町村民会議、青少年育成 関係団体にチラシを配布、当 財団のホームページ、新聞、 広報誌等		

4 講師等の派遣

0

N	0. 名称	目的	実施場所	内容	対象	回数等	参加者数	選定方法	周知方法	備考
	親子学び合い (児童生徒と保護者	ネット時代をよりよく歩んでいくために必要な力や環境でくりについて考える機気がは、ママートフェン学の特性	E- 1 1 N/4 1 1 E- E-	主に民間有識者を講師	小・中学校、義務 教育学校の児童生 徒・保護者等		小中学生 13,183名 保護者等 4,608名 教職員 723名	市町村民会	市町村民会議を通じて各小・ 中学校、義務教育学校に通 知、ホームページ	
	のためのネット時代 の歩き方講習会)	け、スマートフォン等の特性についての知識を普及する。	援学校	た。	特別支援学校の児童生徒・保護者	校 3回	児童生徒 222名 保護者 13名 教職員 51名	希望校全て	各特別支援学校に通知、ホー ムページ	

5 助成事業

N	o. 名称	目的	内容	対象・団体数など	選定方法	周知方法	備考
	市町村民会議活動促進補助金		市町村民会議が、社会環境の浄化や健全な家庭づくり推進活動、リーダー支援など青少年健全育成のために行う事業に対して助成する。		対象全て	市町を通じて該当市町村民会議に通知	
4	青少年育成指導員年間活動費	資質の向上を図る。	青少年育成指導員が青少年の健全育成 のために主導的な役割を果たすための 活動費を支給する。	(38名)		青少年指導員会総会、市町村 民会議等全体連携会議	
,	青少年育成指導員等 研修会助成金	育成指導員と地区青少年育成 連絡協議会との連携を深め、 資質の向上を図る。	各地区青少年育成連絡協議会が、育成 指導員との連携を深めるために実施す る講話・演習などの開催に対して助成 した。	県内8地区の青少年育成連絡協 議会	対象全て	各青少年育成連絡協議会に通 知	
4	有少年育成指導員会 自主研修会等助成金	育成指導員会の、青少年育成 及びその指導に関する資質の 向上を図る。	育成指導員会が、年3回程度実施する 講話・演習・発表会の開催に対して助成した。	青少年育成指導員会	対象は一つのため選定せず	青少年育成指導員会に通知	
į	少年の主張発表地区 大会交付金	全育成を推進するとともに、	青少年育成連絡協議会が実施する、国 公私立中学校・義務教育学校、特別支 援学校中等部より選出された代表によ る発表会の開催に対し助成した。	県内の8地区青少年育成連絡協 議会	対象全て	各青少年育成連絡協議会に通 知	

6 表彰

N	0. 表彰名	表彰者	対象者・人数など	選考方法	周知方法	表彰基準	表彰場所
	栃木県青少年育成県民会議表彰	栃木県青少年育成県民会議 会長、理事長	a 子ども育成・憲草功労者 29名	市町長又は市町教育長、関係団体からの推薦に基づき、県、県 教育委員会、県警察、当財団からなる選考委員会の審査・選考 で決定		a 原則5年以上の活動 b 原則5年以上の活動 c 原則5年以上の活動 d 原則5年以上の活動	県公館
	っ「家庭の日」絵日記 コンテスト		栃木県内に居住または通学している小 学生以下 ※応募総数1,508点 入賞者:13名	とちぎ心のスクラム県民運動主 唱4者(県、県教育委員会、県 警察、当財団)による選考委員 会の審査・選考で決定	チラシを各関係団体へ 配布、当財団及び県 ホームページ	家族のふれあいをテーマにし た心あたたまる作品	県公館

2 栃木県子ども総合科学館管理運営事業(指定管理)

〇印はとちぎ県民カレッジ登録事業

1 施設管理

☆印は青少年と文化の連携事業

N	o. 施設名	施設の設置目的・特徴	所在地	仕様・概要	利用・使用料	委託元
	子ども総合科学館 大規模改修工事に伴う 屋内施設の休館 令和6 (2024) 年1月 1日~令和7 (2025) 年9月30日	21世紀の本県を担う子どもたちが、学校や家庭では得難い科学的な知識や経験を自ら楽しみながら学習するとともに、子ども自身が進んで活動できる場を整備することによって、科学する心や文化を創造する心を育て、情操豊かな心身ともに健全な子どもを育成することを目的に栃木県が昭和63年に設置した。 展示を中心とした科学及び科学技術の普及啓発施設としての機能と健全な遊びを通じて心身ともに健全な子どもの育成を図るための児童厚生施設としての機能を併せ持っている。	宇都宮市西川田町 5 67番地	広場(ミニ機関車、変わり種目 転車等)	展示場:大人550円 小人220円 プラネタリウム:大人220円 小人110円 ミニ機関車・変わり種自転車 大人220円 小人110円 ※小人は4歳以上中学生以下	栃木県

2 主催事業

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	利用者数	選定方法	周知方法	委託元
	常設展示場の一般公 開と運営	常設展示品やサイエンスショーにより、わかりやすく科学及び科学技術の普及啓発を図る。	子ども総合科 学館	解説員による展示内容や操作方法の説明、サイエンスショーによる科学現象の紹介、大型シミュレーターの運行等。展示品の日常管理、故障展示品の修繕等。	— 般	通年(休館 日を) リョ感合施 と実施 を が しま が に い り り り り り り り り り り り り り り り り り り	123, 124 名	特になし	催し案内、ホームページ等	栃木県
2	企画展(夏) 「ビー玉でサイエン ス」	常設展示にない分野や話題性に富んだものを補完し、 わかりやすく科学及び科学技術の普及啓発を図る。	子ども総合科 学館	子どもたちにとって親しみ やすい素材である「ビー 玉」を用いた楽しい実験装 置を展示する。	一般	7/22~8/27	29, 293 名		チラシの配布、企画展ポス ターの管内掲示、ホーム ページ等	栃木県
3	科学技術コンクール 「ロボット・チャレン ジ」2023	試行錯誤をしながら創意工 夫する製作活動を通して、 物づくりの困難や楽しさ、 達成感を味わい、科学的探 究心と技術力を養うきっか けとする。	子ども総合科	自作のロボットを操作し て、障害物コースの走行時 間を測定する競技を行っ た。	中高生	11/4	212名	特になし	ホームページ等	栃木県
4	科学フェスティバル	多数の実験ブースや工作 ブース、サイエンスショー コーナー等で会場を構成 し、来館者に科学や物づく りに親しむ場を提供する。	子ども総合科 学館	地域外部団体(地域の企業 団体、大学等)との共催よ り開催。	一般	12/2, 3	871名	希望者全て	ホームページ、事業案内を 各学校等に送付、市町の広 報誌	栃木県

	No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	利用者数	選定方法	周知方法	委託元
0	5	久 活 		子ども総合科 学館	科学工作教室、ミニ工作、 移動科学教室を開催した。 また、アウトリーチ事業の 試行を行った。 *科学工作教室のみ県民カ レッジ登録事業	一般	年50回程度	1,920名	抽選等	ホームページ等	栃木県
	6		天体や宇宙への興味・関心 を喚起する。	子ども総合科 学館	最新の天文学や季節の星座 等を紹介する番組、子ども を対象に興味付けを主な目 的とする番組及び学習指導 要領に準拠した学習番組な どバラエティーに富んだ内 容を投影した。	学校等の団体一般	4回/日	45, 224	団体は申 込順 一般は発 券順	ホームページや天文関係情報サイトへの掲示、館内掲示等	栃木県
	7	天体観察会	天体や宇宙への興味・関心 を喚起する。	子ども総合科 学館	太陽、月をはじめ、惑星、銀河、星雲・星団などの天体について、観察する機会を提供した。 *夜間の天体観察会(星をみる会)のみ県民カレッジ登録事業	一般	天文台公開 年16回 太陽をみる 会 年5回 星をみる会 年17回	296名	希望者全 て 希望者全 て 抽選等	ホームページや天文関係情報サイトへの掲示、館内掲示等	栃木県
0	8	天文教室	天体や宇宙への興味・関心 を喚起する。	子ども総合科 学館	星の動きの観察・記録やプ ラネタリウムの工作などを 行った。	一般	8/6 9/30 10/28	49名		ホームページや天文関係情 報サイトへの掲示、館内掲 示等	栃木県
	9	体験・育成事業	子どもに健全な遊びを提供 し、心身の健康を増進し、 情操の向上を図る。		児童学生員をしている。 日ま、等ま別が施にと種がのこのである。 は、ちプローのでは、おのでは、おのでは、は、なのででは、は、なのでででは、は、ないでは、は、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、な	一般	日ラを〜親ラ回特ラ回ボアロ 常ム除月子ム)別ム)ラ活 では毎)ロ月 ロ年 テ の が館日 グ2 グ13 イ月 が第日 グ2 グ13 イ月	延べ 8,579名	内容毎に 設定	ホームページ等	栃木県

	No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	利用者数	選定方法	周知方法	委託元
☆		児童健全育成団体へ の支援・指導	児童健全育成の向上と市町 児童館活動等の支援、また、児童厚生員等の資質向 上及び交流を図る。	県内の市町児 童館や関係機 関	1~3歳の親子と小学生を対象にあそびの出前を実施し、県内の市町児童館や関係機関の支援等を行った。県内児童館と共同でプログラムをおこなう「あそびの連携事業」を実施した。	県内の市町児童館や 関係機関	あそびの連	536名	内容毎に 設定	県内児童館及び各市町所管 課に通知、ホームページ等	栃木県
	11	児童館・児童クラブ 職員研修	児童館・児童クラブに関する情報提供や児童厚生員・ 児童支援員の資質の向上を 図る。		児童館・児童クラブの児童 厚生員・児童支援員への講 演、実技講習として実施し た。	児童館・児童クラブ に勤務する児童厚生 員・児童支援員	5回	142名	申込順	県内児童館、各市町所管課 を通じて児童クラブに通知	栃木県
	12	乗り物広場の運営及 び屋外遊具の管理	子どもに健全な遊びを提供 し、心身の健康を増進し、 情操の向上を図る。	子ども総合科 学館	変わり種自転車の貸出し、 ミニ機関車の運行と点検・ 整備及び屋外遊具等の点検 管理を行った。	一般	開館日 (但し乗り 物広場は12 月~2月平 日運休	自 車 二 車 機 利 数 計 66,272	特になし	ホームページ等	栃木県
			翌 10、 事未で過じてこれよく 一		謎解きイベント 「科学の国の未来くん」	一般	10/14, 22 11/5, 25 12/10, 16	延べ 814名	特になし	ホームページ、館内掲示等	
					忍者道場~番外編終~	一般	12/10	142名	特になし	ホームページ等	
	13	大規模は依に関連士 内施設が休館となることか フ		子ども総合科 学館	リニューアル休館前 クロージング事業 ①ナイトミュージアム・ バックヤードツアー ②ダンボールdeハロウィン ③トコトコ★どこどこ!?ピ クチャーラリー	①小学生以上親子 ②一般 ③一般	①10/14 ②10/28 ③11/19		内容毎に 設定	ホームページ等	栃木県
				スペシャルサイエンス ショー ・びっくりドッキリ静電気 ・SS-1グランプリ ・超低温の世界	一般	12/23, 24, 27 各日3回	500 <i>⁄</i> Z	各回30席 先着順 及び立ち 見自由	ホームページ、館内掲示		
				5	プラネタリウム特別番組 「星空さんぽ 科学館お休 み中の星空2024-2025」	一般	12/27	187名	特になし	ホームページや天文関係情報サイトへの掲示、館内掲示等	

N	Vo.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	利用者数	選定方法	周知方法	委託元
1	14		開館から改修までの科学館の記録をまとめることでリニューアルへの機運醸成とともに科学館への更なる理解促進を図る。	子ども総合科 学館	改修前の展示品の他、改修 の進捗状況などを確認でき る科学館アーカイブサイト の公開を行った。	一般	_	_	_	ホームページ等	栃木県
1	15	協会公演 (とちぎミュージカ ル協会主催、公益財 団法人とちぎ未来づ	子どもたちによるミュージ カルパフォーマンスを通し て、身近なものとして芸術 文化に触れ、子どもの心の 健康を増進し、情操の向上 を図る場を提供する。	子ども総合科	とちぎミュージカル協会所属の複数の団体によるミュージカル公演。子どもたちによる子どもたちのためのミュージカルを上演。演目「たいせつなからだ」「クリスマスに贈るミュージカル・パフォーマンス」	一般	11/19, 26 12/23, 24 全6回公演	919名	特になし	ホームページ等	_
1	16	(一般財団法人ざぶ ん環境・文化プロ	生命の源である水や海の テーマに通じて「命」や 「自然」の大切さについて 考えてもらうことを目的と した事業を支援する。		小中学生を対象に募集した 水をテーマとした作文と アーティストとの共同作品 「ざぶん賞」の受賞作展示 及び中高生を対象にSDGs活 動への取り組みの顕彰。	—般	12/14 ~12/21 (12/18を 除く)	970名	特になし	ホームページ等	_

☆

令和5(2023)度栃木県子ども総合科学館利用状況調べ(前年度比)

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比	
	大人	5,453	5,985	3,598	8,638	16,114	5,568	5,030	4,909	4,356	0	0	0	59,651	96.6%	
	前年度	5,131	6,042	2,998	6,278	9,485	5,937	5,041	3,832	2,497	3,892	4,185	6,450	61,768	90.0%	
展示場	小人	4,305	8,085	5,433	7,250	14,716	5,847	8,088	6,156	3,593	0	0	0	63,473	94.3%	
茂小场	前年度	3,949	8,913	5,898	5,948	8,583	4,990	8,841	6,826	1,910	2,688	2,934	5,862	67,342	94.3/0	
	合計	9,758	14,070	9,031	15,888	30,830	11,415	13,118	11,065	7,949	0	0	0	123,124	95.4%	
	前年度	9,080	14,955	8,896	12,226	18,068	10,927	13,882	10,658	4,407	6,580	7,119	12,312	129,110	93.4/0	<u>'</u>
	大人	1,854	2,023	1,212	2,951	5,223	1,888	1,560	1,608	1,637	0	0	0	19,956	100.4%	
	前年度	1,378	1,714	933	2,025	3,731	1,809	1,613	1,248	849	1,281	1,266	2,030	19,877	100.4%	
プラネタリウム	小人	1,444	3,308	2,341	2,851	5,356	2,599	3,754	2,135	1,480	0	0	0	25,268	98.3%	
フライダリラム	前年度	1,102	2,767	2,039	2,495	3,422	2,274	3,875	2,619	772	937	1,236	2,163	25,701	90.3%	
	合計	3,298	5,331	3,553	5,802	10,579	4,487	5,314	3,743	3,117	0	0	0	45,224	99.2%	
	前年度	2,480	4,481	2,972	4,520	7,153	4,083	5,488	3,867	1,621	2,218	2,502	4,193	45,578	99.2%	
	大人	2,185	2,639	1,219	577	981	1,374	1,850	2,105	1,150	306	1,352	1,725	17,463	76.2%	
	前年度	2,658	3,118	1,160	949	1,549	1,893	2,882	2,260	968	1,706	1,503	2,265	22,911	70.2/0	
乗り物広場	小人	3,489	2,999	1,555	891	1,389	1,854	2,449	2,699	1,583	429	1,545	2,290	23,172	76.7%	
(自転車・ミニEL)	前年度	3,745	3,611	1,364	920	2,007	2,377	3,785	3,250	1,251	2,501	1,895	3,499	30,205	70.7/0	<u>'</u>]
	合計	5,674	5,638	2,774	1,468	2,370	3,228	4,299	4,804	2,733	735	2,897	4,015	40,635	76.5%	
	前年度	6,403	6,729	2,524	1,869	3,556	4,270	6,667	5,510	2,219	4,207	3,398	5,764	53,116	70.5%	
		18,730	25,039	15,358	23,158	43,779	19,130	22,731	19,612	13,799	735	2,897	4,015	208,983		1
有料入館者合計	前年度	17,963	26,165	14,392	18,615	28,777	19,280	26,037	20,035	8,247	13,005	13,019	22,269	227,804	91.7%	
無料公開	など	20,049	31,033	27,773	16,716	15,079	17,593	20,892	20,987	18,512	3,468	12,549	14,594	219,245	_	
各種教室	など	277	631	560	440	605	594	1,893	2,049	3,358	0	156	1,313	11,876	_	
総合計		39,056	56,703	43,691	40,314	59,463	37,317	45,516	42,648	35,669	4,203	15,602	19,922	440,104	_	延利用者
														(単位:円)		
収入金額		5,357,290	6,460,300	3,811,650	7,400,630	14,021,870	5,339,040	5,616,160	5,165,910	4,055,520	114,510	467,390	631,400	58,441,670	94.2%] 収入合詞
以八並領	前年度	5,036,320	6,639,920	3,488,320	5,586,850	8,699,440	5,502,570	6,141,180	4,724,460	2,369,340	3,725,950	3,844,430	6,292,300	62,051,080	94.2%	W A D B

3 栃木県立とちぎ海浜自然の家管理運営事業(指定管理)

〇印はとちぎ県民カレッジ登録事業
か印は青小年と文化の連集事業

140	≣π.	_	тп
MPL	設	E.	7#

No. 施設名 施設の設置目的・特徴 所在地 仕様・概要 利用・使用料	1 施設管理	
をちぎ海浜自然の家 恵まれた自然の中での集団宿泊活動、野外活動、自然観察等を通して、体力の向上や豊かな情操及び社会性を培い、心身ともに健全な青少年を育成するとともに、生涯学習の振興に資することを目的として栃木県が設置した社会教育施設である。 当施設は、茨坂県寺田市の玉田海岸から太平洋を望む丘陵地に位置 大規模改修工事に伴 大規模改修工事に作 大規模な 大規模な 大規模な 大規模な 大規模な 大規模な 大規模な 大規模な	No. 施設名	委託元
令和5 (2023)年1月 1日~6月30日 行う場を提供している。 (人)、高校生2,500円、その他5,000円 000円 日帰り:中学生以下200円、高杉 生300円、その他500円 ブール:中学生以下200円、高杉 生300円、その他500円 光熱水費:350円 など 2 主催事業	家 大規模改修工事に伴 う休館 令和5(2023)年1月 1日~6月30日	校 校 栃木県 生 5,

No.	土惟争来 名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	参加人数	選定方法	周知方法	委託元
1	臨海自然教室	海辺での集団宿泊や自然体験 活動など様々な体験的学習を 提供し、子ども及び青少年の 健全育成を図る。	海汇白母の字	「海の分教場」として、海に関する教育資源を活用したプログラムを教育活動の一環として実施した。	県内小学5年生	7月~3月	28, 193名	希望者全て	県内各小学校に通知	栃木県
2	各種団体受入事業	青少年育成関係団体や社会教育団体等の学習・研修・交流活動、家族のふれあい活動などの支援を図る。	X- X- X- X- X- X-	利用団体の利用目的に 応じた多様な体験的学 習の場を提供し、それ らの支援にあたった。	学習・研修・交 流・親睦等を目的 とした団体(県内 外)	7月~3月	7, 383名	希望者全て	ホームページ、各市町・団体 への利用案内やチラシの送付	栃木県
3	利用団体 指導者等研修	臨海自然教室や社会教育団体 等による利用の指導効果を高 めるため、施設の特性や利用 方法の理解を深めるととも に、活動プログラムの効果的 な指導法を学ぶ。	海浜自然の家	指導者自らが活動プログラムの体験や相談会に参加し、指導法を学ぶとともに、施設の特性等を理解していただいた。	・臨海自然教室 実施校教員 ・社教団体指導者	8/9(木)	64名	希望者全て	県内各小学校、県内外各種団 体に通知	栃木県
4	海浜夏まつり	海に関わる体験をとおして、 自然のすばらしさを体感する とともに、家族・仲間の親睦 を深める。	海浜自然の家 大洗サンビー チ	磯節鑑賞やおまつり広場、大洗サンビーチで 地引き網体験を実施した。	栃木県民	7/8(土)~ 7/9(目)	155名	抽選	ホームページ、県広報媒体に よる広報、各市町・団体への 主催事業案内の送付	

	No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	定員	選定方法	周知方法	委託元
0	5	海浜オープンデー	栃木県民および県外の人々に、とちぎ海浜自然の家のよさを知ってもらう機会を設ける。	海浜自然の家	施設見学や創作活動など施設の活動プログラムを体験してもらう場を設けた。	どなたでも	8/19(土)	178名	希望者全て	新聞、ホームページ、県広報 媒体による広報、各市町・団 体への主催事業案内の送付	栃木県
0	6	とちぎ「の家」体験ツアー	県内の青少年施設4施設を巡り、地域の特性にあった活動を体験することで、青少年の健全育成に寄与し、施設への理解を深める。	海浜自然の家	塩作り体験、ナイトハイキング、施設見学等を実施した。	県内の小学校6年 生	8/3 (木) ~8/4 (金)	34名	4-4- YEE	ホームページ、ポスター、県 内広報誌への掲載、各市町・ 団体への利用案内やチラシ配 布等	栃木県
0	7	Let's enjoy fishing!	海に関わる体験活動をとおして、自然のすばらしさを体感するとともに、家族・仲間の親睦を深める。	海浜自然の家 大洗海岸	釣り体験や砂浜遊び、 塩づくりなどを実施し た。	栃木県民	9/23(土)~ 9/24(日)	70名	抽選	ホームページ、県広報媒体に よる広報、各市町・団体への 主催事業案内の送付	栃木県
0	8	満腹!秋の味覚	秋の味覚や収穫する喜びを味わうなどの体験活動をとおして、自然のすばらしさを体感するとともに、家族・仲間の親睦を深める。	近隣の畑	さつまいも掘りや野外 調理、涸沼での漁船乗 り体験を実施した。	栃木県民	10/21(土)~ 10/22(日)	77名	抽選	ホームページ、県広報媒体に よる広報、各市町・団体への 主催事業案内やチラシの送付	栃木県
0	9	海浜初日の出	初日の出を見て、新春を迎え る喜びを味わう。	海浜自然の家	マリンドームやマンボ ウキーホルダーなどの 創作活動を実施し、翌朝海を臨む広場から初日の出を鑑賞した。	栃木県民	12/31(日)~ 1/1(月)	174名	抽選	ホームページ、県広報媒体に よる広報、各市町・団体への 主催事業案内の送付	栃木県
0	10	開運!あんこうま つり	冬の味覚を味わうことや、活動プログラムを体験することをとおして、自然のすばらしさを体感するとともに、家族・仲間の親睦を深める。	海浜自然の家	あんこうの吊るし切り を実演し、あんこう汁 を提供したあと、地元 の保存会の協力を得て 和太鼓演奏を行った。	栃木県民	2/3(土)~ 2/4(日)	97名	抽選	ホームページ、県広報媒体に よる広報、各市町・団体への 主催事業案内の送付	栃木県
0		協力!世界一への挑戦!	栃木県と茨城県の家族・仲間が、海での自然体験や交流活動をとおして、自然のすばらしさを体感するとともに、家族・仲間相互のつながりを築き、協力することの大切さや成し遂げる喜びを実感する。	海浜自然の家	栃木と茨城の参加者でペアを組み、ウォークラリーを楽しみながら 交流する場を設けた。	栃木県民及び 茨城県民	3/2(土)~ 3/3(日)	104名	抽選	新聞、ホームページ、県広報 媒体による広報、各市町・団 体への主催事業案内やチラシ の送付	栃木県
	12	出前授業	海浜自然の家の魅力をPRするとともに、創作系等のプログラムを実施する。	希望校	「貝の根付け」等の創 作活動を実施した。	栃木県内の小学校 (第4学年〜第5 学年)	2回 ①5/26(金) ②2/29(木)	①79名 ②18名	希望校全 て	県内各小学校に通知	栃木県

令和5(2023)年度 とちぎ海浜自然の家 利用状況

<u>1</u> ₹	利用者数							11111111111111111111111111111111111111				(人数:人 /	金額:円)	_
	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
未就	県内	0	0	0	72	25	12	43	34	42	0	0	21	249	
	県外(鉾田市を含む)	0	0	0	4	6	4	0	0	0	0	8	0	22	
· 児	延利用者数	0	0	0	76	31	16	43	34	42	0	8	21	271	
⊋小	県内	0	0	0	1,057	0	1,880	4,390	5,245	4,309	3,377	4,559	117	24,934	
(臨海	県外(鉾田市を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
生	延利用者数	0	0	0	1,057	0	1,880	4,390	5,245	4,309	3,377	4,559	117	24,934	
小	県内	0	0	0	855	797	95	769	141	262	2	64	333	3,318	
学	県外(鉾田市を含む)	0	0	0	78	249	11	16	140	70	0	134	34	732	
生	延利用者数	0	0	0	933	1,046	106	785	281	332	2	198	367	4,050	
中	県内	0	0	0	184	28	6	10	0	106	0	366	83	783	
学	県外(鉾田市を含む)	0	0	0	0	24	0	0	3	226	0	0	2	255	
生	延利用者数	0	0	0	184	52	6	10	3	332	0	366	85	1,038	
高松	県内	0	0	0	9	38	0	4	0	96	0	42	135	324	
校生	県外(鉾田市を含む)	0	0	0	0	8	0	0	6	0	0	0	14	28	
等	延利用者数	0	0	0	9	46	0	4	6	96	0	42	149	352	
そ	県内	0	0	0	426	231	356	727	803	696	455	678	213	4,585	
の	県外(鉾田市を含む)	0	0	0	14	118	16	26	37	31	0	34	70	346	
他	延利用者数	0	0	0	440	349	372	753	840	727	455	712	283	4,931	
	県内	0	0	0	2,603	1,119	2,349	5,943	6,223	5,511	3,834	5,709	902	34,193	
合	県外(鉾田市を含む)	0	0	0	96	405	31	42	186	327	0	176	120	1,383	
計	延利用者数	0	0	0	2,699	1,524	2,380	5,985	6,409	5,838	3,834	5,885	1,022	35,576	延利用者数
	利用料収入	0	0	0	835,150	968,100	624,250	1,466,150	1,658,500	1,624,900	886,750	1,305,300	747,900	10,117,000	
前年	延利用者数	1,371	4,714	6,543	6,573	2,795	3,784	4,227	5,367	4,225	0	0	0	39,599	
度	利用料収入	1,133,400	1,357,900	1,334,600	2,617,750	1,870,200	1,951,050	2,115,100	1,256,200	1,109,700	0	0	0	14,745,900	
	プール利用														•
施設	利用人数	0	0	0	430	416	0	183	0	150	38	150	47	1,414	
	利用収入	0	0	0	53,700	73,100	0	23,700	0	24,400	4,700	16,800	6,500	202,900	
	その他														
	水費相当額	0	0	0	515,550	296,450	471,100	1,258,250	1,408,400	1,302,000	889,000	1,167,950	208,250	7,516,950	
リネ		0	0	0	184,400	117,400	193,200	463,200	464,600	415,200	257,400	507,200	85,000	2,687,600	
	活動費	0	0	0	251,840	64,537	411,720	645,092	748,750	642,940	710,820	754,722	37,990	4,268,411	
	利用料収入合計						<u> </u>					<u> </u>			
利用	料収入合計	0	0	0	1,840,640	1,519,587	1,700,270	3,856,392	4,280,250	4,009,440	2,748,670	3,751,972	1,085,640		
Щ.	前年度	1,570,960	3,172,140	3,858,099	5,070,050	2,858,930	3,408,520	3,938,050	3,480,810	2,966,200	0	0	0	30,323,759	
	上催事業収入合計														
主催	事業収入合計	0	55,300	0	882,900	159,660	389,370	575,000	0	0	1,049,350	643,990	553,580	4,309,150	
	前年度	40,940	544,100	736,250	986,800	649,750	241,600	1,058,000	248,130	547,400	7,650	3,200	0	5,063,820	
	又入総合計				<u> </u>										l
収入	総合計	0	55,300	0	2,723,540	1,679,247	2,089,640	4,431,392	4,280,250	4,009,440	3,798,020	4,395,962	1,639,220	29,102,011	
	前年度	1,611,900	3,716,240	4,594,349	6,056,850	3,508,680	3,650,120	4,996,050	3,728,940	3,513,600	7,650	3,200	0	35,387,579	

82.23%

4 栃木県立なす高原自然の家管理運営事業(指定管理)

1 施設管理

○印はとちぎ県民カレッジ登録事業☆印は青少年と文化の連携事業

No	施設名	施設の設置目的・特徴	所在地	仕様・概要	利用・使用料	委託元
]	なす高原自然の家	青少年の団体宿泊訓練をはじめとする県民の多様な団体活動を支援することにより、青少年の健全な育成と生涯学習の充実を図ることを目的として栃木県が平成16年に設置した社会教育施設である。日光国立公園の最北端、那須郡那須町にあり、標高1,915mの茶臼岳を背景に、眼下に那須野が原、遠く八溝・筑波の山嶺が一望できる標高1,030mの高所に位置し、那須高原の豊かな自然の中で、四季を通じて登山、ハイキング、スノーシューハイキングなど各種の自然体験活動ができる。	那須郡那須町湯本 157		○宿泊料(県内在住者): 中学生以下 500円(学校教育活動等の一環として利用する場合は無料)、高校生 1,000円、大学生2,000円、その他2,500円(県外は別料金) ○日帰り団体の施設利用料: 大研修室4,930円~、中研修室1,230円~、小研修室1,230円~、体育館・体験プラザ2,050円~(学校教育活動等の一環として利用する場合は無料(県外含む))	栃木県

2 主催事業

		工作尹木									
	No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	参加人数	選定方法	周知方法	委託元
	1	各種団体受入事業	青少年育成関係団体や社会教育団体等の学習・研修・交流活動などの支援を図る。	なす高原自然の家		研修を目的とした 県内の団体	通年	30, 138名	希望者全て	ホームページ、各市町・団体 への利用案内やチラシの送付	栃木県
	2	利用団体指導者相 談週間	利用団体の指導者を対象に研 修を行い、利用団体が効果的 な活動ができるよう図る。	なす高原自然 の家	利用団体による個別相 談の形で実施。施設案 内、活動プログラムや 活動のポイント紹介し た。	利用団体の指導者	5/8 (日) ~5/14 (日)	42名	希望者全て	利用予約団体への通知	栃木県
0	3	ウィンディボラン ティア研修	ボランティアとしての知識・技能を習得する研修を実施し、社会貢献活動の促進と施設ボランティアの育成を図る。	なす高原自然の家	ボランティアに関する 講義及び登山・創作活 動などの実習等を行っ た。	県内外の 18歳以上の方 (大学生以上)	5/20 (土) ~5/21 (日)	4名	抽選	ホームページ、ポスターの掲示、県広報誌等への掲載、各 市町・関係機関への利用案内 やチラシ配布等	栃木県
0	4	ふれあい登山教室	登山の基礎知識・基礎技術の 習得を図りながら、登山の楽 しさを味わい、参加者相互の 交流を図る。	なす高原自然 の家	初心者、中級者を対象 に、登山についての講 義や登山を実施した。	県内外の 18歳以上の方	6/3 (土) ~6/4 (日)	18名	抽選	ホームページ、ポスター、県内広報誌への掲載、各市町・団体への利用案内やチラシ配布等	栃木県
0	5	とちぎ「の家」体 験ツアー	県内の青少年施設4施設を巡り、地域の特性にあった活動を体験することで、青少年の健全育成に寄与し、施設への理解を深める。	なす高原自然の家	ツリークライミング、 殺生石ハイキング、施 設見学等を実施した。	県内の小学校 6 年 生	7/31 (月) ~8/1 (火)	34名	抽選	ホームページ、ポスター、県内広報誌への掲載、各市町・団体への利用案内やチラシ配布等	栃木県

	No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	参加人数	選定方法	周知方法	委託元
0	6	ファミリー登山教 室		なす高原自然 の家 ほか	防災教育に関する講 義、ペットボトル行 灯、茶臼岳登山を実施 した。	県内外の家族 (小学生以上)	8/5 (土) ~8/6 (日)	35名	抽選	ホームページ、ポスター、県内広報誌への掲載、各市町・ 団体への利用案内やチラシ配布等	栃木県
0	7	秋の紅葉登山教室	登山の基礎知識・基礎技術の習得を図りながら那須の自然にふれる楽しみを提供するとともに、参加者相互の交流を図る。	なす高原自然 の家 ほか	登山についての興和、 周辺ハイキングや茶臼 岳登山を実施した。		10/7 (土) ~ 10/8 (日)	17名	抽選	ホームページ、ポスター、県 内広報誌への掲載、各市町・ 団体への利用案内やチラシ配 布等	栃木県
0	8	ウインディ親子読 書	豊かな自然環境の中で親子で 絵本や読書に親しむことをと おして、豊かな感性を育むと ともに、家庭内での子どもの 読書活動の促進を図る。	なす高原自然 の家	読み聞かせや自然散 策、絵本作りを実施し た。	県内外の家族 (小学生以下)	11/4 (土)	32名	抽選	ホームページ、ポスター、県 内広報誌への掲載、各市町・ 団体への利用案内やチラシ配 布等	栃木県
0	9	ふれあい広場		なす高原自然 の家	会や参加者同士の交流	特別な支援を要する方(児童・生徒も含む)とその家族		24名	抽選	ホームページ、ポスター、県 内広報誌への掲載、各市町・ 団体への利用案内やチラシ配 布等	栃木県
0	10	クリスマスファミ リーデー	クリスマスにちなんだ体験活 動をとおして、家族の交流を 深める。	なす高原自然 の家	クリスマスツリー作り などの創作活動やサイ エンスショー、ロース トビーフ作りなどを 行った。	県内外の家族	12/9 (土) ~ 12/10 (日)	47名	抽選	ホームページ、ポスター、県 内広報誌への掲載、各市町・ 団体への利用案内やチラシ配 布等	栃木県
0	11	冬のファミリー デー①②	冬の那須の自然とふれあいな がら、家族の交流を深める。		ミニかまくら作り、ス ノーシューハイキング などの自然体験活動を 実施した。	県内外の家族	2回 ①1/20(土) ~1/21(日) ②2/10(土) ~2/11(日)	①57名 ②93名	抽選	ホームページ、ポスター、県内広報誌への掲載、各市町・ 団体への利用案内やチラシ配布等	栃木県
0	12	スノーシューハイ キング	自然の家周辺をスノーシュー でハイキングすることで、冬 の那須の自然とふれあいなが ら、雪上活動を楽しむ。			県内外の家族 18歳以上の方	2/3 (土)	3名	希望者全て	ホームページ、ポスター、県 内広報誌への掲載、各市町・ 団体への利用案内やチラシ配 布等	栃木県

令和5(2023)年度 なす高原自然の家 利用状況

1 私	川者数				TJ1	Д Ј (2023) Т	度 49 高原	日然の多 利	тил.				(人类ケ・人)	✓ 金額:円)	
	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2		合計	l
未	県内		136	0	287	2	54	41	0	0	25	213	72	830	
	県外		0	0	180	26	0	92	0	6	38	0	0	342	
児児	延利用者数	0	136	0	467	28	54	133	0	6	63	213	72	1,172	
小	県内	20	814	2,694	1,337	1,057	2,078	2,347	1,030	133	398	467	30	12,405	
	県外	32	0	252	141	630	391	0	465	200	154	28	450	2,743	
生	延利用者数	52	814	2,946	1,478	1,687	2,469	2,347	1,495	333	552	495	480	15,148	
中	県内	1,037	1,799	1,150	46	59	981	15	624	0	224	208	320	6,463	
学	県外	48		0	12	67	0	0	0	0	0	4	0	131	
生	延利用者数	1,085	1,799	1,150	58	126	981	15	624	0	224	212	320	6,594	i
高节	県内	298	79	0	139	24	88	3	0	0	2	3	2	638	
校生	県外	6	95	0	139	89	0	0	0	0	0	0	0	329	
等	延利用者数	304	174	0	278	113	88	3	0	0	2	3	2	967	
大学	県内	177	18	0	0	244	128	207	0	0	42	30	0	846	
生	県外	0	0	0	20	12	0	0	0	0	0	0	0	32	
等	延利用者数	177	18	0	20	256	128	207	0	0	42	30	0	878	
	県内	497	403	465	538	317	508	422	341	80	133	246	216	4,166	i
	県外	278	124	40	186	230	45	92	50	46	32	56	34	1,213	
他	延利用者数	775	527	505	724	547	553	514	391	126	165	302	250	5,379	
	県内	2,029	3,249	4,309	2,347	1,703	3,837	3,035	1,995	213	824	1,167	640	25,348	
	県外	364	219	292	678	1,054	436	184	515	252	224	88	484	4,790	i
計	延利用者数	2,393	3,468	4,601	3,025	2,757	4,273	3,219	2,510	465	1,048	1,255	1,124	30,138	
	利用料収入	2,188,000	933,000	773,500	1,701,000	2,289,000	887,000	966,500	522,500	306,000	312,000	352,800	571,600	11,802,900	i
	延利用者数	1,562	1,901	4,164	2,967	1,520	3,098	3,925	1,850	1,069	1,321	1,287	712		延利用者数
	利用料収入	575,500	482,000	517,500	1,422,000	1,482,000	811,000	1,577,500	269,500	440,500	294,000	342,000	226,800	8,440,300	l
	設利用														
	利用件数	144	218	263	234	214	204	191	164	31	65	66	40		
	利用収入	0	4,930	0	3,280	0	4,310	9,030	0	0	3,280	2,460	0	27,290	İ
	の他	·				221.212			150.000			(=0 =00;	0.0.00		İ
	水費相当額	598,130	707,350	964,490	631,240	661,340	768,840	647,150	453,220	77,830	169,420	173,720	310,460	6,163,190	
リネン		306,880	446,880	570,640	364,840	296,800	474,600	393,680	273,560	38,640	98,560	113,120	136,080	3,514,280	
	活動費	183,300	473,790	777,420	247,300	139,490	610,350	455,290	303,200	53,600	15,330	5,300	3,000	3,267,370	i
	用料収入合計		0.505.050	0.000.050;	0.047.000;	0.000.000;	0.745.100	0.474.050	1 550 400	470.070	E00 E00;	0.47.400	1 001 140	04775000	i
利用	料収入合計	3,276,310	2,565,950	3,086,050	2,947,660	3,386,630	2,745,100	2,471,650	1,552,480	476,070	598,590	647,400	1,021,140		
_ <u>-</u>	前年度	1,273,100	1,424,710	2,482,900	2,770,400	2,100,260	1,982,730	3,403,550	1,098,120	891,520	694,080	642,990	497,340	19,261,700	l
	産業収入合	TAT	16 700	150 200	0:	000.050	0:	150.450	100 500	070 600	070 540	400.000	0	1 707 670	i
土惟	事業収入合計		16,700	159,300	0	233,950	0	150,450	120,530	273,600	272,540	480,600	0	., ,	
G Ilt	前年度	0	700	161,800	0	201,250	Uį	0	304,500	250,650	154,680	392,650	0	1,466,230	l
	₹入総合計 ※☆註 「	0.076.010	0 500 650	0.045.050	0.047.660	0 000 E00	0.745.100	0.600.100	1 670 010	740.670	071 100	1 100 000	1 001 140	06 400 700	ᄪᄀᄵᄼᆗ
松人	総合計	3,276,310	2,582,650	3,245,350	2,947,660	3,620,580	2,745,100	2,622,100	1,673,010	749,670	871,130	1,128,000	1,021,140		
	前年度	1,273,100	1,425,410	2,644,700	2,770,400	2,301,510	1,982,730	3,403,550	1,402,620	1,142,170	848,760	1,035,640	497,340		
														127.76%	

5 文化振興関係事業 1 コンクール

〇印はとちぎ県民カレッジ登録事業 ☆印は青少年と文化の連携事業

N	lo. 名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	入場・参加数	選定方法	周知方法	備考
	【栃木県誕生150年 記念】とちぎ舞台 芸術アカデミー 2023【音楽部門】 第27回コンセー ル・マロニエ21	とちぎから全国へ発信する事業の一環として、新進演奏家を支援するとともに、県内演奏家のレベルアップを図る。	化センター/		年齢以外は特に制 約はない。 (在住	年1回 「動画審査」 7/22(土) 「オーディ ション」 8/19(土) 「本選・表彰 式」 10/21(土)		動公デ(非一ン本の) 音賞する。	参加要項リーフレット・ポスター等を全国の文化施設や高校・大学の音楽科、県内の生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。音楽専門雑誌への広告掲載。ホームパージがほか。	
7	【栃木県誕生150年 記念】とちぎ舞台 芸術アカデミー 2 2023【音楽部門】 第16回栃木県ジュ ニアピアノコン クール	栃木県内でピアノを学ぶ小学 ~高校生の研鑽意欲を高め、 ジュニア世代のピアノ演奏技 術の向上とクラシック音楽へ の普及啓発を図る。	総合文化セン ター/サブ ホール 本選:栃木県 総合文化セン ター/メイン	前身の「栃木県ピアノコン クール」から32年の歴史と実 績を生かし、子どもたちの豊 かな感性をより育める内容で コンクールを実施した。参加 部門は①小学1・2年生、② 3・4年生、③5・6年生、④中 学生、⑤高校生の5部門。	県内の小学生から	年1回 「予選」 8/6(日)、 8(火)、9(水) 「本選」 11/3(金·祝)	(参加者) 予選108名 本選50名	(公開)の2 段階審査に より入賞者	参加要項リーフレット・ポスター等を県内の文化施設、生涯学習施設、図書館、市町、マスコミ、楽器店、県内音楽教室へ郵送。ホームページ、ほか。	音楽

2 講習会、セミナー等

	No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	入場・参加数	参加方法	周知方法	備考
☆	1	とちぎ舞台芸術アカ デミー2023【音楽部 門】 第16回栃木県ジュニ アピアノコンクール 〈課題曲講座〉	県内の小学生から高校生までのピアノ実演者とその指導者の技術の向上とクラシック音楽の普及啓発を図る。	化センター/リ ハーサル室	①小学1・2年生、②3・4年 生、③5・6年生、④中学生の 4部門毎に、第16回栃木県 ジュニアピアノコンクールの 「課題曲」について、演奏の ポイントについて審査員が部 門ごとに解説を行った。	ノコンクールへ参加 を希望している者。 (保護者・指導者含	年1回 5/3(水祝)	73名	申込順 (高校生以上 受講料あり)	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページ/ほか。	音楽
0	2	マロニエ文化まなびのひろば「考古学セミナー」〜縄文の記憶を呼び覚ます〜	埋蔵文化財や地域の歴史、過去の人々の生活への理解と関心の喚起を図る。	講話では 1 に が 1 に か	テーマを決め、埋蔵文化財センターの専門職員による考古学講座を行った。	一般	体験:11/5(日)	第1回19名 第2回12名 第3回16名 第4回11名		募集チラシを県内の文化施設、 生涯学習施設、市町、マスコミ 等へ郵送。 ホームパージほか。	考古学
	3	「とちぎアーティ ストバンク」管 理・運営業務	県ゆかりのアーティスト・団体の活動支援及び県内文化事業における活用を促進することを目的とする。	栃木県総合文 化センター ホームページ	とちぎアーティストバンクの WEBページ登録更新、登録 アーティストに関する問い合 わせ・マッチング等を中心と した管理・運営業務を行っ た。	_	通年	なし	_		WEBサイト 管理運営

3 ワークショップ

N	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	入場・参加数	参加方法	周知方法	備考
]	【栃木県誕生150年 記念】 とちぎ舞台芸術ア カデミー2023【音 楽部門】 栃木県楽友協会 「第九」合唱ワー クショップ	クラシック音楽及び合唱への 関心の喚起を図るとともに、 県民合唱実演者及び観客の育 成に取り組む。	化センター/	ベートーヴェン交響曲第9番4 楽章の合唱部分を学ぶワークショップ。ソプラノ、ブル、テール、バス・バリトンの4声種に分け、合唱研展の指導者に参加まる音・合唱を行った。参加が振ります。 は、12月17日(日)開催演奏会」に出演した。	者	11/12(日) 11/19(日) 11/26(日)	ソプラス 33名、48 名、一、・ルン 4名、フィン 30名 4名 30名 4名 30名 4名 30名 4名 30名 4名 50名 50名 50名 50名 50名 50名 50名 50名 50名 50	(左半)	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽

4 鑑賞型文化振興事業

	鑑員型又化振興									
No	名称	目的 目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	入場・参加数	入場方法	周知方法	備考
1	【栃木県誕生150年 記念】とちぎ舞台 芸術アカデミー 2023【音楽部門】 第3回栃木県新人音楽 家演奏会 一未来 にはばたけとちぎ の音楽人—	県内及び首都圏の音楽大学等 と連携し、栃木県ゆかりの新 人音楽家に演奏発表の機会を 提供し、本県音楽文化の担い 手の育成を図るとともに、演 奏者の栃木県における音楽、栃 本県音楽文化の振興・発展に 寄与する。	化センター/	栃木県総合文化センター開館 30周年記念事業として開始 し、第3回目を迎える。音楽 大学等(上野学園大学/国立音 楽大学/昭和音楽大学/洗足学 園音楽大学/東邦音楽大学/桐 朋学園音楽大/武蔵野音楽大 学)学部新卒者による演奏会 を行った。	出演者、・	年1回 5/14(日)	出演者: 16名 入場者: 500名	一般:入場 券購入 学生及び生 徒:無料	チラシ・ポスターを県内外の音楽大学等及び県内の文化施設、 生涯学習施設、市町、マスコミ 等へ郵送。新聞への掲載。ホーム ページ ほか。	音楽
2	【栃木県誕生150年 記念】とちぎの若 手アーティスト元 気発信作品展	令和4年度に設置した「とちぎアーティストバンク」を活用し、登録者の中から公募によって選定したアーティストによる記文作品展を開催会を開展に文化芸術の鑑力とももに、とちぎの文化の魅力発信を図る。	化センター/ 情報交流コー	県が開催する県誕生150年記念式典に併せて、情報交流コーナーに「とちぎアーティストバンク」登録アーティストによる作品を展示し、来館者に鑑賞してもらった(県受託事業)。	——飛	年1回 6/10(土)~11 日(日)	出展者: 6組 入場者: 450名	無料	チラシを県内の文化施設、生涯 学習施設、市町、マスコミ等へ 郵送。新聞への掲載。ホームページ ほか。	作品展
3	【栃木県誕生150年 記念】とちぎの アーティスト元気 発信ステージ	令和4年度に設置した「とち ぎアーティストバンク」を活 用し、登録者の中から公募に よって選定したアサートマイスト による選記やエアサートを開賞 し、県民に文化芸術の鑑賞とち そを提供するとともに、る ぎの文化の魅力発信を図る。	栃木県総合文 化センター/	県誕生150年を記念して「とちぎアーティストバンク」登録アーティストによるコンサートを行った(県受託事業)。	一 般	年1回 6月11日(日)	出演者: 9組 入場者: 500名	無料	チラシを県内の文化施設、生涯 学習施設、市町、マスコミ等へ 郵送。新聞への掲載。ホームページ ほか。	音楽

No	. 名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	入場・参加数	入場方法	周知方法	備考
4	【栃木県誕生150年 記念】宮田大チェ ロ・リサイタル	県制150年を記念事業として、とちぎにゆかりのアーティストの活動を広く県民に紹介するとともに、クラシック音楽の普及啓発、舞台芸術鑑賞機会の提供を図る。	栃木県総合文 化センター/ メインホール	世界的なチェリスト宮田大がコンサートを行った。	一般	年1回 6/11(日)	1,350名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内外の音楽大学等及び県内の文化施設、 生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホーム ページルまか。	音楽
5	平日の贈り物♪ラ ンチタイムコン サート	クラシック音楽等の普及啓発 を促進するとともに、舞台芸 術鑑賞機会の提供を図る。	Vol. 46·47· 49:栃木県総 ター/サブ ホール Vol. 48:栃木 県総合文化セ ンター/メイ ンホール	平日昼間に開催する、休憩なし60分コンサート。チケット提示により、会場周辺のパートナー店によるサービスも提供。Vol. 46【栃木県誕生150年記念】「トリオ・ラ・プラージュコンサート」(渚智佳(P)&田口美里(Vn)&近藤千花子(C1))Vol. 47「上田純子(S)&高橋洋介(Ba)デコオリサイタル」Vol. 48「沼尾みゆき(Vo)&新井啓泰(P)オータムコンサート」Vol. 49「西山瞳(P)&橋爪亮督(Sax)ジャズコンサート」	一般	年4回 Vol. 46: 6/15(木) Vol. 47: 9/14(木) Vol. 48: 11/15(水) Vol. 49: 2/16(金)	Vol. 46 188名 Vol. 47 172名 Vol. 48 450名 Vol. 49 300名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホムページほか。	音楽 ※Vol. 46~ 48は「栃木 県誕生150 年業」として 実施
6	【栃木県誕生150 年記念】松竹大 歌舞伎公演	歌舞伎の普及啓発を促進 するとともに、舞台芸術 機会の提供を図る。	栃木県総合 文化セン ター/メイ ンホール	全国公立文化施設協会の 企画として例年実施され ている全国巡業により、 大歌舞伎公演を実施し た。出演/尾上松緑他	一般	年1回 7/12(水)	昼の部: 360名 夜の部: 304名	入場券購入	チラシを県内の文化施設、生涯 学習施設、市町、マスコミ等へ 郵送。新聞への掲載。ホームページ ほか。	古典芸能
7	【栃木県誕生150年 記念】とちぎ舞台 芸術アカデミー 2023【音楽部門】 栃木県交響楽団特 別演奏会	クラシック音楽の普及啓発を 促進し、舞台芸術鑑賞機会の 提供を図るとともに、若手演 奏家へ演奏機会を提供する。	栃木県総合文 化センター/ メインホール	「コンセール・マロニエ21」 入賞者支援の一環として、同 コンクール優勝者等をコン チェルトソリストに迎え、県 民オーケストラによる演奏会 を開催した。ソリストは第26 回声楽部門優勝者喜納響(テ ノール)。	一般	年1回 9/17(日)	953名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホムパージほか。	音楽
8	【栃木県誕生150年 記念】国際音楽交 歓コンサート2023	クラシック音楽の普及啓発を 促進し、舞台芸術鑑賞機会の 提供を図る。		著名音楽家を数多く輩出してきた世界有数の音楽院出身者等の一流音楽家による、声楽、ピアノ、ヴァイオリン、チェロ等のコンサートを行った。	一般	年1回 10/13(金)	665名	入場整理券 (申込順)	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽

N	a. 名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	入場・参加数	入場方法	周知方法	備考
!	【栃木県誕生150年 記念】NHK宇都宮放)送局開局80年記念 「DJ日本史」公開 生放送	全国放送番組を実施することにより、放送を通じてとちぎの情報、文化を全国に発信する。多数の来場者を迎えることにより、県庁周辺の賑わいの創出を図る。	栃木県総合文 化センター/ メインホール	毎週日曜日の夕方に放送され るラジオ番組。観覧者を公募 し、生放送番組を実施した。	一般	年1回 11/5(日)	801名	入場整理券 (申込多数の 場合抽選)	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホムページほか。	歴史
☆ 1	とちぎ舞台芸術ア カデミー2023【 楽部門】 0 というでででである。 とおいるででである。 というでは、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 というでも、 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと	児童生徒へのアウトリーチ事業として、クラシック音楽等 の普及啓発を図る。	県内小・中・ 義務有館・ 全 楽室等		地区の小学生・中 学生・義務教育学	須町立那須中 学校 ⑤10/30(月)那	③123名 ④220名 ⑤212名 ⑥440名 ⑦200名		開催学校へ通知。学校から生徒・保護者・地域住民等に周知。	音楽
1	【栃木県誕生150年 記念】第13回栃木 県楽友協会『第 九』演奏会	クラシック音楽の普及啓発を 図るとともに、舞台芸術鑑賞 機会の提供を図る。		栃木県楽友協会合唱団(栃木県来友協会及び公募を得団)と、栃木県水で合唱団)と、栃木県交際支協会管弦楽団(栃木県交響楽団等)、栃木県ゆかりのソリスト(ソプラノ/桝田明良、バリトン/デラール/川田明良、バリトン/荒井弘高)による、オールとちぎの『第九』演奏会を行った。	一般	年1回 12月17日(日)	1,200名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームパージ ほか。	音楽

	No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	入場・参加数	入場方法	周知方法	
	12		クラシック音楽の普及啓発を 図るとともに、舞台芸術鑑賞 機会の提供を図る。		世界の名歌劇場に出演し、, 19には「天皇陛下御即位を祝 う国民祭典」にて国歌独唱す る等今最も注目を集める、と ちぎ未来大使の森谷真理が ニューイヤーコンサートを 行った。	一般	年1回 1/8(月祝)	954名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページ、ほか。	音楽
☆	13	【栃木県誕生150年 記念】とちぎ舞台 芸術アカデミー 2023【音楽部門】 フレッシュアー ティスト・ガラ・ コンサート	クラシック音楽の普及啓発を 図り、舞台芸術鑑賞機会の提 供を図るとともに、若手演奏 家へ演奏機会を提供する。	栃木県総合文 化センター/ サブホール	「第27回コンセール・マロニエ21」及び「第16回栃木県ジュニアピアノコンクール」の上位入賞者による演奏会を行った。	一般	年1回 1/28(日)	201名	入場整理券 (申込順)	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページ、ほか。	音楽
-	14	栃木県総合文化センター狂言シリーズ第27弾! 人間国宝野村万作の「狂言 万作の 会」	狂言の普及啓発を図るととも に、舞台芸術鑑賞機会の提供 を図る。	栃木県総合文 化センター/ メインホール 特設能舞台	人間国宝 野村万作と萬斎、 裕基親子三代出演の狂言と、 野村萬斎による狂言鑑賞講座 を行った。	一般	年1回 2/2(金)	928名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	古典芸能
	15	反田恭平&ジャパ ン・ナショナル・ オーケストラ コン サートツアー2024	クラシック音楽の普及啓発を 図るとともに、舞台芸術鑑賞 機会の提供を図る。		ショパン国際音楽コンクール で第2位入賞により注目を集める若手ピアニスト反田恭平 と、自らがプロデュースし全 員がソリスト級メンバーの ジャパン・ナショナルオーケ ストラがコンサートを行っ た。	一般	年1回 2/10(土)	1,519名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホムページほか。	音楽
	16	【栃木県誕生150年 記念】NHKのど自慢	全国放送番組を実施することにより、放送を通じてとちぎの情報、文化を全国に発信する。多数の来場者を迎えることにより、県庁周辺の賑わいの創出を図る。	栃木県総合文 化センター/ メインホール	毎週日曜日のお昼に放送される一般出場者によるのど自慢 番組。鑑賞者も公募により参 加いただく生放送番組を実施 した。	一般	年1回 3/31(日)	1,162名	入場整理券 (申込多数の 場合抽選)	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽

5 共催文化振興事業

	5	共惟又化振舆争			1 -1-						Alle des
ı,	No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	入場・参加数	入場方法	周知方法	備考
☆		第16回ミュージカ ルフェスティバル	ミュージカルの普及啓発を図るとともに、県内ミュージカル団体の活動を広く周知する。	ちごホール(真岡市民会館)	とちぎミュージカル協会加盟 6団体と「第10回ミュージカルワークショップ」参加者に よる創作ミュージカル公演を 行った。	一般	年1回 4/23(日)	455名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホムページほか。	ミュージカル
		劇団四季 人間に なりたがった猫	ミュージカルの普及啓発を図 るとともに、舞台芸術鑑賞機 会の提供を図る。		劇団四季によるミュージカル 公演を行った。	一般	年1回 5/4(木祝)	1,409名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホムページほか。	ミュージカル
	3	第26回しもつけ写 真大賞展	写真の普及啓発を図るととも に、写真愛好家の意欲の高揚 を図る。		県民から一般募集した作品の 審査及び展示を行った。	応募対象は一般県 民(有料)	年1回 5/13(土)~ 21(日)	1,583名	入場無料	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホムページほか。	写真
		フジコ・ヘミン グ スペシャル コンサート	クラシック音楽の普及啓発を 図るとともに、舞台芸術鑑賞 機会の提供を図る。		日本で最も支持されるクラ シックピアノの偉才フジコ・ ヘミングが東京フィルをバッ クに演奏を行った。	一般	年1回 5/20(土)	1,573名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	音楽
	5	しまじろうコン サート	幼児に親しみのあるキャラクターのコンサートを実施することにより、家族での舞台芸術鑑賞のきっかけづくりに役立てる。	化センター/	人気キャラクター「しまじろ う」が、客席と一体になって 一緒に歌ったり踊ったりする コンサートを行った。	一般	年1回 5/21(日)	13:30の 部:1,169 名 16:30の 部:846名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページ、ほか。	音楽
	ь	こどもミュージ カルどりーみん ぐ30周年記念公 演	ミュージカルの普及啓発を図 るとともに、県内ミュージカ ル団体の活動を広く周知す る。	栃木県総合文 化センター/ サブホール	こどもミュージカルどりーみんぐの30周年を記念して、 ミュージカル公演を行った。	一般	年1回 5/21(日)	279名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページ、ほか。	ミュージカル
		斉藤和義コン サート	軽音楽の普及啓発を図るとと もに、舞台芸術鑑賞機会の提 供を図る。		シンガー・楽曲提供・プロ デュースとマルチに活動する 斉藤和義がデビュー30周年を 記念してコンサートツアーを 行う。	一般	年1回 5/27(土)	1,480名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームハ [*] -ジほか。	音楽

[a. 名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	入場・参加数	入場方法	周知方法	備考
日本・北マケドニア友好プロジェクト2023 〜スコピエ大地震 60年メモリアル〜 「佐手麻珠&エマ・ポピヴォダ ピアノデュオリサイタル」	クラシック音楽の普及啓発を 図るとともに、舞台芸術鑑賞 機会の提供を図る。		音楽家兼プロデューサーとしてグローバルに活動する、とちぎ未来大使の佐手麻珠と北マケドニア共和国出身のエマ・ポピヴォダのピアノ・デュオリサイタルを行った。	一般	年1回 6/30(金)	107名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページ、ほか。	音楽
辻井伸行×三浦 文彰 ARKシン フォニエッタ	クラシック音楽の普及啓発を 図るとともに、舞台芸術鑑賞 機会の提供を図る。		日本を代表するピアニスト辻 井伸行とヴァイオリニスト三 浦文彰がオーケストラと競演 した。	一般	年1回 7/28(金)	1,509名	入場券整理券	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページ、ほか。	音楽
ニーナ・アナニア 0 シヴィリ バレエ ワークショップ	クラシックバレエ技術の向上 を図るとともに、クラシック バレエへの関心を喚起し観客 の育成に取り組む。	伽木県総合又	20世紀を代表するバレリーナとして一世を風靡し、現在はジョージア国立バレエ・トビリシ国立バレエ学校芸術監督を努めるニーナ・アナニアシヴィリから、直接実技指導を受けるワークショップを行った。	年生~30才までの バレエ実演者	年1回 8/2(水)・ 3(木)	クラス I (小5~中 1)27名 クラス II (中2~30 才)27名	申込順 (有料)	募集チラシを県内の文化施設、 生涯学習施設、市町、マスコミ 等へ郵送。ホームページほか。	舞踏
1 劇団日穏公演「オミソ」	演劇の普及啓発を図るととも に、舞台芸術鑑賞機会の提供 を図る。	栃木県総合文 化センター/ サブホール	栃木県出身岩瀬顕子が主宰する劇団日穏がとちぎゆかりの 出演者を交えてオリジナル作 品の上演を行った。	一般	年1回(3回公 演) 9/8(金)・ 9(土)	9/8 夜の部 100名 9/9 昼の部 190名 夜の部 170名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページ、ほか。	演劇
キーウ・クラシッ ク・バレエ 『白鳥の湖-全2幕-	クラシックバレエの普及啓発 を図るとともに、舞台芸術鑑 賞機会の提供を図る。		ロシアの侵攻により未曽有の 危機にあるキーウのバレエ団 の強い要望により、来日公演 を行った。	一般	年1回 9/26(火)	661名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	バレエ
(公社)宇都宮法人 3会·関東信越税理士 会宇都宮支部 秋季 講演会	著名文化人による講演会の聴 講機会の提供を図る。	栃木県総合文 化センター/ メインホール	社会学者 作家 古市憲寿によ る文化講演会を行った。	— 般	年1回 11/22(水)	575名	入場整理券 (申込順)	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	講演会

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数、日程等	入場・参加数	入場方法	周知方法	備考
14	特撰うつのみや寄 席	落語の普及啓発を図るととも に、舞台芸術鑑賞機会の提供 を図る。	栃木県総合文 化センター/ メインホール	人気落語家、林家たい平、桂 宮治ほかによる落語公演等を 行った。	一般	年1回 11/29(水)	594名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページ、ほか。	古典芸能
15	クリスマス/ アヴェ・マリア ウィーン弦楽合 奏団	クラシック音楽の普及啓発を 図るとともに、舞台芸術鑑賞 機会の提供を図る。		弦楽合奏とソプラノがクリス マスにちなんだ名曲コンサー トを行った。	一般	年1回 12/9(土)	407名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホ-ムペ-ジほか。	音楽
16	布袋寅泰コン サート	軽音楽の普及啓発を図るとと もに、舞台芸術鑑賞機会の提 供を図る。		デビューから40年を経てなお 第一線のロックミュージシャ ンとして活躍する布袋寅泰が 全国ツアーを行った。	— 般	年1回 12/10(日)	1,422名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページ、ほか。	音楽
17	鼓童ワン・アー ス・ツアー2023 〜翔走-Shoso」	伝統音楽の普及啓発を図ると ともに、舞台芸術鑑賞機会の 提供を図る。	栃木県総合文 化センター/ メインホール	世界で認められた伝統的な和 太鼓集団鼓童が全国コンサー トツアーを行う。	一般	年1回 12/13(水)	587名	入場券購入	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページにか。	音楽
18	第47回栃木県文化 振興大会	文化活動関係者の意欲の高揚 を図るとともに、文化行政へ の理解の促進を図る。	KOBELCO真岡い ちごホール (真岡市民会 館)	県内の文化活動関係者が一堂 に会して実施する文化交流大 会の助成を行った。	一般	年1回 1/20(土)	700名	入場無料	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホームページほか。	文化振興
19	第30回栃木県郷土芸能大会	郷土芸能の普及啓発を図るとともに、鑑賞機会の提供を図る。		県内の郷土芸能団体による発 表大会の助成を行った。	一般	年1回 3/24(日)	520名	入場無料	チラシ・ポスターを県内の文化施設、生涯学習施設、市町、マスコミ等へ郵送。新聞への掲載。ホ-ムパ-ジほか。	郷土芸能
	第11回ミュージカ ルワークショップ	栃木県における子ども達への ミュージカルの振興を図ると ともに関心を喚起し、ミュー ジカル団体の活動を広く県民 に周知する。	海浜自然の家	宿泊によるワークショップ を、とちぎミュージカル協会 所属の指導者による歌・ダン ス・芝居を組み合わせたプロ グラムで行った。	宿泊が可能な小学 3年生程度〜高校 生までの児童・生 徒	年1回 3/26(火)~ 28(木)	参加児童 生徒74名 (内一般公 募受講生 は12名)	申込順 (有料)	募集チラシを県内の文化施設、 生涯学習施設、市町、マスコミ 等へ郵送。ホームパージほか。	ミュージカル
21	米沢唯&遅沢佑介 バレエワーク ショップ	クラシックバレエ技術の向上 を図るとともに、クラシック バレエへの関心を喚起し観客 の育成に取り組む。	栃木県教育会館/大ホール	新国立劇場バレエ団プリンシ パル 米沢唯とK-Ballet Tokyo名誉プリンシパル 遅沢 佑介から、直接実技指導を受 けるワークショップを行っ た。		年1回 3/30(土)· 31(日)	(参加者) クラス I (小5~ 中1)27名 クラス II (中2~ 30才)13名 おとなのクラス (30歳以 上)13名 (入場者) 150名	申込順 (有料)	募集チラシを県内の文化施設、 生涯学習施設、市町、マスコミ 等へ郵送。ホームページほか。	舞踏

予定:39事業82公演 実施:42事業91公演

6 埋蔵文化財センター事業

1 受託事業 (施設管理)

○印はとちぎ県民カレッジ登録事業☆印は青少年と文化の連携事業

No.	施設名	施設の設置目的・特徴	所在地	仕様・概要	利用・使用料	委託元
1	地本県 埋蔵文化財セン	県内における埋蔵文化財の保護及び調査研究、保存活用、知識の普及啓発、市町支援・連携を行うことによって、県民の教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的に埋蔵文化財に関する県の中核的施設として栃木県が設置している。	下野市紫 4 7 4 番地		常設展示室、研修室、図書 室、学習室:無料	栃木県

2 発掘調査事業

No.	遺跡名(年次)	調査の原因	所在地	時代・遺跡の性格	発掘調査の内容	契約期間	委託元
1	重要遺跡等範囲確認調査	県営圃場整備地内遺跡確認 調査			県営圃場整備事業の実施に先立ち、計画地内に存在 する遺跡の範囲確認等の確認調査を実施した。	R5. 11. 1∼R6. 3. 28	栃木県
2	侍塚古墳 (R3~R7)	いにしえのとちぎ発見どき 土器わく湧くプロジェクト 事業	大田原市 湯津上地区		国指定史跡である侍塚古墳の遺跡範囲及び江戸時代 徳川光圀による調査地点の確認調査を実施した。	R5. 4. 3∼R6. 3. 28	栃木県
3	城ノ内遺跡 (H30~)	栃木県県土整備部が計画す る一般県道結城石橋線多功 工区の事業	上三川町 多功地区	奈良・平安時代〜近世 集落跡・城館跡	発掘調査によって出土した遺物と図面・写真等記録 類の整理作業を実施した。	R5. 4. 3∼R6. 3. 28	栃木県
4	栗宮宮内遺跡 (R4~)	栃木県県土整備部が計画する主要地方道小山環状線栗 宮南工区の事業	小山市 栗宮地区	古墳時代~近世 集落跡	遺跡の存在が確認されている埋蔵文化財の現地発掘調査を実施した。	R5. 4. 3∼R6. 3. 28	栃木県
5	下飯貝遺跡 (R4~R5)	栃木県県土整備部が計画す る国道121号京泉Ⅱ工区の 事業	真岡市 京泉地区		発掘調査によって出土した遺物と図面・写真等記録 類の整理作業及び報告書作成を実施した。	R5. 4. 3∼R6. 3. 28	栃木県
6	天神遺跡 (R4~)	栃木県県土整備部が計画する主要地方道栃木二宮線大宮バイパス第Ⅱ工区の事業	栃木市 大宮町地区	奈良・平安時代 集落跡	遺跡の存在が確認されている埋蔵文化財の現地発掘 調査を実施した。	R5. 4. 3∼R6. 3. 28	栃木県
7	町東遺跡 (R5新規)	栃木県県土整備部が計画する主要地方道矢板那須線泉 バイパス工区の事業	矢板市 泉地区	古墳時代 集落跡・古墳	遺跡の存在が確認されている埋蔵文化財の現地発掘調査を実施した。	R5. 4. 3∼R6. 3. 28	栃木県
8	宝性寺西遺跡 (R5新規)	栃木県県土整備部が計画す る一般県道鹿沼環状線千渡 北工区の事業	鹿沼市 千渡地区	縄文時代・古墳〜平安 時代 包含層・集落跡	遺跡の存在が確認されている埋蔵文化財の現地発掘 調査を実施した。	R5. 4. 3∼R6. 3. 28	栃木県

No.	遺跡名(年次)	調査の原因	所在地	時代・遺跡の性格	発掘調査の内容	契約期間	委託元
9	鳴井上遺跡 (R2, R5)	栃木県県土整備部が計画する主要地方道那須黒羽茂木 線下境工区の事業	那須烏山市 下境地区	縄文~奈良・平安時代 集落跡	発掘調査によって出土した遺物と図面・写真等記録 類の整理作業及び報告書作成を実施した。	R5. 4. 3∼R6. 3. 28	栃木県
10	小泉分校裏遺跡・ 山根遺跡 (R2~R6)	栃木県農政部が計画する農 地整備事業	益子町 小泉・本沼地 区		発掘調査によって出土した遺物と図面・写真等記録 類の整理作業及び報告書作成を実施し、小泉分校裏 遺跡分の報告書を刊行した。	R5. 4. 3∼R6. 3. 28	栃木県
11	篠崎遺跡 (R4~R5)	栃木県農政部が計画する農 地整備事業	下野市 薬師寺・柴地 区	縄文~奈良・平安時代 集落跡	発掘調査によって出土した遺物と図面・写真等記録 類の整理作業及び報告書作成を実施した。	R5. 4. 3~R6. 3. 28	栃木県
12	塚原遺跡・塚原古 墳群(R4~R5)	国土交通省が計画する国道 4号矢板拡幅事業	矢板市 早川町地区		発掘調査によって出土した遺物と図面・写真等記録 類の整理作業及び報告書作成を実施した。	R5. 4. 1~R6. 3. 31	国土交通省
13	栗宮新都心区画整 理事業地内遺跡 (R4~R9)	小山市等が計画する栗宮新 都心第一土地区画整理事業	小山市 栗宮地区	縄文時代~中世 集落跡	遺跡の存在が確認されている埋蔵文化財の現地発掘 調査を実施した。	R5. 4. 1∼R6. 3. 29	小山市等
	佐野市遺跡詳細分 布調査 (R4~R7)	埋蔵文化財保護に係る遺跡 台帳整備事業	佐野市 全域	旧石器時代~近世 散布地外	市全域を踏査し、遺跡の所在と各遺跡の範囲、性格を調査した。	R5. 12. 1∼R6. 2. 29	佐野市
	塩谷町遺跡詳細分 布調査 (R3~R6)	埋蔵文化財保護に係る遺跡 台帳整備事業	塩谷町 全域	旧石器時代~近世 散布地外	町全域を踏査し、遺跡の所在と各遺跡の範囲、性格 を把握する現地調査を本年度で終了した。	R5. 9. 1∼R6. 3. 22	塩谷町
	野木町遺跡詳細分 布調査 (R5~R6)	埋蔵文化財保護に係る遺跡 台帳整備事業	野木町全域	旧石器時代~近世 散布地外	町全域を踏査し、遺跡の所在と各遺跡の範囲、性格 を把握する現地調査を終了した。	R5. 9. 20∼R6. 2. 29	野木町

3 講座、講演会、研修等

	No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数日程等	参加者	選定方法	周知方法	備考
0	1	春の企画展講座 「古代下野国の役 所跡」	春の企画展について解説 し、展示への理解をより深 める。	埋蔵文化財セ	春の企画展についての 意味や位置付け、製作 の背景などを織り交ぜ ながら話と映像で解説 した。また、展示解説 も行った。	一般県民	6/25	60名	事前申込	ホームページ・ツイッター にて広報。チラシを県及び 市町教育委員会・県内各学 校・博物館・資料館に送付	

	No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数日程等	参加者	選定方法	周知方法	備考
0	2	特別講演会 「勾玉の謎を紐解 く」	夏の企画展を多角的な研究 成果から解説し、展示の内 容を、より深く理解するこ とで歴史への興味の深化を 図る。	埋蔵文化財セ ンター	夏の企画展をより深く 理解するため、大田区 郷土博物館学芸員斎藤 あや氏を招聘し講演会 を実施した。	一般県民	8/20	70名	事前申込	ホームページ・ツイッター にて広報。チラシを県及び 市町教育委員会・県内各学 校・博物館・資料館に送付	
0	3	発掘調査報告会	埋蔵文化財への理解と関心 を喚起するとともに、考古 学愛好者の学術的ニーズに 応える。	埋蔵文化財セ ンター	前年度に栃木県埋蔵文 化財センターが実施し た発掘調査の概要と成 果を、調査担当者が映 像を提示しながら報 告・解説した。	一般県民	10/15	44名	事前申込	ホームページ・ツイッター にて広報。チラシを県及び 市町教育委員会・県内各学 校・博物館・資料館に送付	
	4	県庁本館ミニ展示 ギャラリートーク	県庁本館展示前で通行者など居合わせた人などに、歴 史を学ぶ楽しさや、郷土の 歴史への関心を喚起する。	県庁本館企画 展示コーナー	ミニ展示を平易に解説 し、対話型で理解を深 めるギャラリートーク を実施した。	一般県民	3/1	12名	原則全員	ホームページ・ツイッター にて広報	
		発掘調査現地説明 会	速報的に発掘調査の成果を 周知するとともに、地域の 歴史や文化に対する理解と 関心を喚起する。	県内各地の 発掘現場	通常発掘調査中の遺跡 に見学コースを設け、 古墳についてわかりや すく説明した。また、 出土した土器を陳列し て解説を行った。	一般県民	上侍塚古墳 ①9/23 ②11/11	①108名 ②120名	希望者全員	ホームページ・ツイッター にて広報。地元市町教育委 員会及び近隣の学校への通 知。遺跡周辺住民への回覧 板、新聞掲載	
	6	出前授業等	学校等で学ぶ児童・生徒・ 学生等に、地域の歴史や過 去の人々の生活に対する興 味と関心を喚起する。	学校	当センター職員が、学校周辺で出土した土器などを用い、生活の移り変わりを中心とした地域の歴史についての授業を行った。また、勾玉作り体験や土器施した。	小・中学校 高等学校 大学等	延べ23校 5月 1回 6月 2回 7月 3回 9月 2回 10月 8回 11月 4回 12月 2回 1月 1回	1,174名	希望校は全て	ホームページにて広報。 リーフレットやセンターだ よりを各学校に送付	
	7	講師派遣等	団体を対象に講師として赴き、埋蔵文化財の知識を普 及活用し、歴史への興味や 生涯学習に寄与する。	博物館・公民 館等	行政や教育委員会等の 団体の要請により、当 センター職員が、学術 的な講話や体験の講師 として講演を行った。	一般県民	延べ21件 5月 1回 7月 3回 8月 8回 9月 1回 10月 1回 11月 5回 12月 1回 3月 1回	491名	事前申込	ホームページにて広報。 リーフレットやセンターだ よりを各学校に送付	

No.	名称	目的	実施場所	内容	対象	回数日程等	参加者	選定方法	周知方法	備考
8	史跡見学会	遺跡実査により、栃木県内の史跡の特徴を理解し関心を喚起する。		借上げバスを利用して 当センター職員が県内 の史跡に参加者を案内 し、調査の成果や研究 の現状を踏まえて歴史 的意義や史跡の特質な どを解説した。	一般県民	12/3	21名	抽選	ホームページ・ツイッター にて広報。チラシを県及び 市町教育委員会・県内各学 校・博物館・資料館に送 付。前年度参加者にメール 等で通知	
9	埋蔵文化財担当者 研修会	市町文化財担当者等の埋蔵文化財保護行政及び考古学に関する知識と技術の向上に資する。	埋蔵文化財センター	文化庁文部技官を講師 として、埋蔵文化財保 護行政及び考古学に関 する研修を実施した。	市町教育委員会 文化財担当者、 県立博物館職 員、埋蔵文化財 センター職員	12/13	42名	原則全員	市町等関係団体に通知	
10	ボランティア研修	埋蔵文化財センター普及事業に携わるボランティアの スキルアップを図り、見学 者等に、より良い情報を供 する。	埋蔵文化財セ	埋蔵文化財センター施設及び周辺の史跡見学に対する解説、勾玉作り等体験学習指導のスキルアップのための研修を行った。	ボランティア希	①4/26②5/9 ③5/26④6/25 ⑤7/24⑥8/20 ⑦9/25⑧ 10/15⑨11/27 ⑩12/22⑪ 1/29⑫2/26		申込順	ホームページ・ツイッター にて、県及び市町教育委員 会・県内各学校・博物館・ 資料館・前年度参加者に通 知	

4 体験教室等

No	名称	目的	実施場所	内容	対象	実施日・回数	参加者	選定方法	周知方法	備考
1	バックヤードツ アー・勾玉作り体 験	埋蔵文化財センターの業務 を周知し、出土品の実物に 触れながら、過去の人々の 生活に対する理解を深め る。また、原始・古代のも の作り体験を通してより歴 史への理解を深める。	埋蔵文化財セ ンター	平日・日曜の日に2回、展示解説・収蔵庫案内を実施し、日曜日には勾玉作り体験を行った。		バックヤード ツアー:平 日・日曜 勾玉づくり体 験:日曜日	90名	受付時間 内に直接 申込	利用案内、ホームページに て広報	
2	埋蔵文化財セン ター特別公開	一般県民に広く埋蔵文化財 センターの業務を周知す る。また、埋蔵文化財に関 する理解を深める。	埋蔵文化財セ	施設を公開し、併せて 体験等を実施した。	一般県民 (主に小・中学 生)	7/28(金)から4日間	計117名		ホームページ・ツイッター にて広報。チラシを県及び 市町教育委員会・県内各学 校・博物館・資料館に送 付。前年度参加者にメール 等で通知	

No.	名 称	目的	実施場所	内容	対象	実施日・回数	参加者	選定方法	周知方法	備考
3	ター見学及び体験	埋蔵文化財センターの業務 を周知し、出土品の実物に 触れながら、過去の人々の 生活に対する理解を深め る。また、原始・古代のも の作り体験や史跡を見学す ることで、体感を通してよ り歴史への理解を深める。	度 文化 別 と	施設見学及び収蔵庫での出土品の観察を行った。また、勾玉づくりの疑似体験や、史跡に児童・生徒を引率し、分かりやすく説明を行った。	小・中学校 高等学校等	延べ45校 5月 3回 6月 27回 7月 11回 9月 1回 10月 2回 12月 1回	1,748名	事前申込	ホームページにて広報。 センターだよりを教育委員 会・学校・博物館等に送付	
4	埋蔵文化財セン ター見学及び体験 学習・周辺史跡見 学 (団体)	埋蔵文化財センターの業務 を周知し、出土品の実物に 触れながら、過去の人々の 生活に対する理解を深め る。また、原始・古代のも の作り体験や史跡を見学す ることで、体感を通してより 歴史への理解を深める。	世 風 又 化 別 で	施設見学及び収蔵庫での出土品の観察を行った。また、勾玉づくりの疑似体験や、史跡見	一般県民	延べ11団体 4月 1回 8月 2回 9月 1回 10月 4回 12月 2回 3月 1回	276名	事前申込	ホームページにて広報。 センターだよりを教育委員 会・学校・博物館等に送付	
5	埋蔵文化財セン ター職場体験	埋蔵文化財センターでの整理作業、発掘現場での発掘 調査に従事して、職業の実 体験をする。	埋蔵文化財センター・発掘 現場	整理作業(水洗、注 記、拓本採り、実測、 トレース等) 普及啓発業務	中・高校生		1校あたり 3~4人	事前申込	ホームページにて広報。 センターだよりを教育委員 会・学校・博物館等に送付	
6	発掘体験	発掘調査を体験すること で、埋蔵文化財や考古学へ の理解・関心を高める。	上侍塚古墳発 掘現場	発掘作業	一般県民	①8/27 ②10/7	①21名 ②10名	申込み	ホームページにて広報	
7	栃木県フェア	栃木県の遺跡や遺物を通して、埋蔵文化財や考古学へ の理解・関心を高める。	イオンモール 佐野新都市	土器タッチ体験 耳飾り作り体験	一般県民	1/13	272名	申込み	ホームページにて広報	

5 情報誌等の発行

1	Vo.	種別	目的	作成部数	内容等	配布先	活用方法等	備考
	1		発掘調査の成果を、客観的 に資料化して公表する。こ の成果を記録保存として後 世に伝える。		特升工退跡 筱 体	教育委員会・博物館・図書館・	教育委員会、博物館等に配布し、様々な研究目的を持った埋蔵 文化財担当者が発掘調査した遺跡の情報を利用するとともに、 図書館等に配布し一般県民の閲覧に供する。	

No	種別	目的	作成部数	内容等	配布先	活用方法等	備考
2	圳九和安	調査・普及部門の充実を図り、当センター職員の日頃 の調査研究の成果を発表する。	500部	論文4編 執筆者4名	都道府県教育市県教育市県教育・県内県教育委員会・委員会・国書館・学講座開設 大学等	教育委員会、博物館等に配布し、様々な研究目的を持った埋蔵 文化財担当者が調査研究成果の情報を利用するとともに、図書 館等に配布し一般県民の閲覧に供する。	
3	情報誌「埋蔵文化 財センターだより」	児童・生徒・一般県民及び 県内外各機関等に、県内の 発掘調査情報及び埋蔵文化 財センターでの普及啓発事 業並びに埋蔵文化財全般に 関して広報する。		2023. 9月 号 2024. 3月 号	県内 手 大 大 ・ は ・ は に い り 会 ら ら ら ら ら ら ら ら ら る り お が は に の に に に に に に に に に に に に に	配布された各機関・個人が教育・学習目的に活用するほか、年 1回は、掲示できるよう壁新聞を付録として作成する。また、 埋蔵文化財センター見学者、各行事参加者に配布する。	
4	「とちぎ発掘調査 成果情報誌」	発掘調査報告書が専門的な 内容であるため、発掘調査 した遺跡の成果概要を一般 県民に分かりやすく解説す る。	各3,500部	鳴井上遺跡 篠崎遺跡	県内会・物物 等会・物物 質・資料館所・ 原外都道会・ 原外都員の 育委博物館 所が が が が で が の の の の の の の の の の の の の	配布された各機関・個人が教育・学習目的に活用する。埋蔵文 化財センターが、遺跡や特定の地域等について照会を受けた時 に説明資料として使用する。	

6 展示等

No	名称	目的	実施場所	内容	対象	実施日・回数	参加者	選定方法	周知方法	備考
1	常設展	埋蔵文化財センターの仕事 を紹介するとともに、遺 跡、出土品等から分かった 栃木県の歴史を展示・解説 する。	埋蔵文化財セ ンター	文字資料だけではなく、発掘調査等考古学の手法を駆使した歴史解明の方法を説明し、時代順(旧石器時代~平安時代)に展示を行った。		常時	4, 330名	特になし	ホームページにて広報。 リーフレットやセンターだ よりを各学校に送付。	
2	春の企画展 「古代下野国の役 所跡」	埋蔵文化財センターの社会 科見学が多い時期にあわ せ、特に平易で分かり易い 展示を行い、歴史への関心 と理解をすすめる助とす る。		前年度の県庁本館ミニ 展示の本展示。栃木県 内から発掘された遺跡 を紹介し、平易で楽し く遺跡から学ぶ意味や 歴史的重要性を考える 展示を行った。		4/23~7/2	359名	特になし	ホームページにて広報。 リーフレットやセンターだ よりを各学校に送付。	

. 名称	目的	実施場所	内容	対象	実施日・回数	参加者	選定方法	周知方法	備考
勾玉乱舞驚覧 と		埋蔵文化財センター		一般県民	7/23~8/27	1,092名	特になし	ホームページにて広報。 リーフレットやセンターだ よりを各学校に送付。	
4館連携巡回展および発掘調査速報展 「栃木の遺跡&発	近年発掘された発掘成果を、栃木県立博物館・那珂川町なす風土記の丘資料館・大田原市なす風土記の丘資料館・大田原市なす風土記の丘資料館・栃木県埋蔵文化財センターの4館をめぐり、県民が居住地近くで、埋蔵文化財調査の情報を深められ、歴史への認識を深める助とする。	ンター	埋蔵文化財センターの 発掘調査成果も加え充 実化を図った展示を	一般県民	9/18~11/19	937名	特になし	ホームページ等にて広報。 チラシ等を各学校・関係機 関に送付。	
冬の企画展 「3D映像で見る栃		埋蔵文化財セ	近年の研究成果や調査 成果をパネルや映像な どで、平易に解説する 展示を行った。	一般県民	1/21~2/25	713名	特になし	ホームページにて広報。 リーフレットやセンターだ よりを各学校に送付。	
「古代の瓦が伝え	遺跡の出土品を活用し、広 く県民に埋蔵文化財や歴史 への関心や理解を深める。		た出土品を展示・解説	一般県民	2/13~3/22	_	特になし	ホームページ・ツイッター にて広報	
「映像で見る栃木	過去の発掘調査成果を活用 し、郷土の歴史についての 理解を深める。	埋蔵文化財セ ンター	栃木県が過去に発掘調査を実施し、資料を保管するものの中から、スライドフィルムのデジタル化が終了した遺跡を、画像により振り返る展示を行った。	一般県民	3/3~3/28	486名			
	夏勾ち 4 は 展	夏の玉ぎ と	夏の企画展	夏の企画展	夏の企画展	夏の企画展	夏休みの時期にあわせ、特に関心を寄せられた考古賞 埋蔵文化財セ が、郷土の歴史への関心を企を子ってに選さ、郷土の歴史への関心を企とでは、郷土の歴史への関心を企し、選解を深める助とする。	夏休みの時期にあわせ、特に関心を寄せられた考古資料の比っての選出を含せられた考古資料の比ったのでは、第1、1,092名 特になしたが、第1、1,092名 特になしたが、第1、1,092名 特になした。	要の企画展

7 保存処理業務

No.	名称	対象	点数	内容	方法	期間	備考
1		埋蔵文化財センターが保管する金属製品 のうち、未処理及び再処理が必要なもの	225 占	処理前X線写真撮影・クリーニング・脱塩処理・樹脂含浸。接合・復元・処理後X線写真撮を実施した。	类 致禾 <u></u>	R5. 6. 14∼R6. 1. 31	

7 栃木県総合文化センター管理運営事業(指定管理)

1 施設管理

No.	施設名	施設の設置目的・特徴	所在地	仕様・概要	利用件数、利用料金収入	委託元
1	総合文化センター	総合文化センターは、県民の文化の振興及び福祉の増進を図るため、栃木県が 平成3年に設置した公の施設である。また、県民の生活に潤いと活力をもたらす とともに、文化の振興に寄与することを設立目的としている。「文化の鑑賞・ 発表機会の提供」「本県文化を担う人材の育成」「文化交流の促進」「とちぎ 文化の発信」の場として利用いただくよう運営に当たった。当財団は、開館し た平成3年度から第3期指定管理者9年目となる令和4年度までの32年間一貫して 管理運営に当たった。	宇都宮市本町1番8号		利用件数 5,984件 内、割引·減免利用 671件 時間外利用 481件 利用料金収入 128,188,760円	栃木県

No.	名称	目的	内容	対象	回数など	委託元
2	利用受付・打ち合わせ業務	施設の貸出受付及び打ち合わせをホスピタリティーを持って取り組むとともに、快適にご利用いただくことによりリピーター利用者の獲得を図った。	施設の貸出受付、利用者打合せ業務	施設利用者	抽選会参加団体数 342団体 利用者打合せ・施設下見件数 573件 学会・大規模大会件数 7件	栃木県
3	広報・情報の発信	施設の利用促進を図るとともに、県民への催事 情報の提供を行った。	イベントカレンダーの発行・ホームページやメールマガジン等による催事情報の提供業務、文化団体や企業向けに施設利用促進を図る広告・広報活動業務	一般	催し案内 年6回発行22,800部/約510箇所に 配布) 催し案内増印配布(5,900部) HP:更新(6回)	栃木県
4	らくらくサービス業務		催事フロアーサービス・ケータリング・飾花・舞台オペレート・ピアノ調律・看板製作、会議室・練習室等設営、白布レンタル、ゴミ処理等	施設利用者	お弁当の手配183件レイアウト変更34件舞台オペレート34件看板製作手配46件その他(ゴミ処理、コピー等)192件	栃木県
5	保守点検業務	施設の維持管理及び利用者の安全確保のため保 守点検業務を実施した。	舞台設備関係、施設設備関係、消防設備関係等の点検 業務	_	舞台設備関係 5件、15回 舞台吊物、舞台照明、舞台音響等 施設設備関係 9件、48回 冷暖房、給排水、電気、昇降機等 消防設備関係 3件、6回 火災報知設備、非常放送設備等 その他 5件、21回	栃木県
6	工事及び修繕関係	施設の維持管理、利用者の安全確保及びサービ ス改善のため工事及び修繕を実施した。	故障箇所等や利用者の安全確保及びサービス改善のた めの工事・修繕	_	ホール設備関係 1件 メイン客席入口扉修繕工事 一般設備関係 23件 変電室低圧シールドトランス盤換気扇交換工事等 環境改善関係 0件 その他 4件 メインホール録音再生機器修理等	栃木県
7	危機管理対策	利用者の安全確保ため、防火・防災訓練、防犯訓練を実施した。	危機管理マニュアル整備及び防火・防災訓練の実施 不審物設置・不審者対応等防犯訓練の実施	職員	消防・避難訓練(消防署通報訓練) 1回 1/19実施 消火訓練 1回 6/22実施 防犯訓練 1回 1/29実施	栃木県
8	事業評価	更なるサービス向上を図るため事業評価を実施した。	利用者アンケート、来館者アンケート等の実施	施設利用者	繰返利用者222件調查 新規利用者41件調查	栃木県

令和5年度 栃木県総合文化センター 施設別利用率、収入金額一覧

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	令和4年度
メインホール	利用率	33.3%	30.8%	64.0%	86.2%	50.0%	92.0%	77.4%	80.0%	54.2%	42.9%	66.7%	71.0%	63.0%	61.8%
	収入金額	3,163,860	3,091,560	4,430,500	6,600,160	2,450,880	5,328,400	3,982,890	4,656,410	2,880,020	2,084,520	3,378,090	4,719,220	46,766,510	48,324,540
サブホール	利用率	60.0%	48.1%	52.0%	75.9%	88.5%	79.3%	71.4%	93.3%	69.2%	68.2%	82.6%	83.9%	73.0%	73.8%
	収入金額	1,198,640	1,456,600	1,352,080	2,222,220	1,583,630	2,418,400	1,702,080	2,373,230	1,305,460	859,260	1,604,690	2,341,050	20,417,340	19,182,640
ギャラリー	利用率	57.8%	65.8%	62.7%	68.9%	39.6%	56.2%	72.6%	70.0%	50.0%	49.2%	66.7%	56.0%	59.9%	59.1%
	収入金額	960,560	1,123,230	885,360	1,157,130	656,180	908,830	1,259,070	1,179,950	782,200	536,720	1,044,180	917,910	11,411,320	11,098,510
会議室	利用率	52.4%	51.6%	57.1%	60.0%	48.8%	69.0%	55.6%	67.3%	52.4%	45.8%	63.4%	47.9%	56.1%	59.7%
	収入金額	2,456,810	2,591,860	2,462,770	2,928,810	2,674,450	3,719,490	3,048,040	3,421,990	2,216,320	1,522,700	3,130,850	1,961,800	32,135,890	34,515,120
練習室	利用率	59.2%	58.9%	65.0%	71.7%	62.9%	76.7%	70.2%	69.2%	65.2%	70.2%	57.8%	55.6%	65.1%	62.3%
	収入金額	942,550	967,310	796,990	1,298,780	1,011,590	1,205,980	1,168,840	906,710	800,920	809,210	787,430	910,550	11,606,860	10,694,450
楽屋	収入金額	364,590	374,230	526,590	710,270	336,870	685,360	554,200	643,560	363,850	184,820	500,770	605,730	5,850,840	5,599,720
収入金額合計	R5年度	9,087,010	9,604,790	10,454,290	14,917,370	8,713,600	14,266,460	11,715,120	13,181,850	8,348,770	5,997,230	10,466,010	11,456,260	128,188,760	
(参考)	R4年度	9,694,820	8,128,790	9,950,170	14,445,030	10,984,700	9,771,640	12,947,720	14,296,040	10,760,840	8,948,150	10,731,970	8,775,110	129,414,980	
													117 7 全類	00.1%	•

*収入金額は利用実績であり、取り消し及び変更に伴う還付の収入は含まない。

収入金額 前年度比

額 99.1%

らくらくサービス収入金額

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
	R5年度	595,742	527,856	476,432	1,050,084	739,123	515,328	2,181,878	1,790,271	281,432	254,591	680,426	1,050,427	10,143,590
(参考)	R4年度	460,639	724,431	115,878	1,154,492	358,535	355,317	1,448,627	888,600	3,778,364	592,153	652,612	902,462	11,432,110

収入金額 前年度比

金額 88.7%